

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

<p>特別管理産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和3年 6月11日</p> <p>(宛先) 岡 崎 市 長</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 岡崎市矢作町字出口1番地 氏 名 東レ株式会社 岡崎工場 工場長 黒川 浩亨 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0564-34-2131</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	東レ株式会社 岡崎工場
事業場の所在地	岡崎市矢作町字出口1番地
計画期間	令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日まで)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	32,506百万円
③ 従業員数	827人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り。

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2の通り。(普通の産業廃棄物と同様)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】別紙3の通り。		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】別紙3の通り。		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	全ての特別管理産業廃棄物を種類別に分別回収している。
② 計画	特別管理産業廃棄物の分別回収を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項：該当なし。

① 現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項：該当なし。

① 現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項：該当なし。

① 現状	【前年度（令和 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

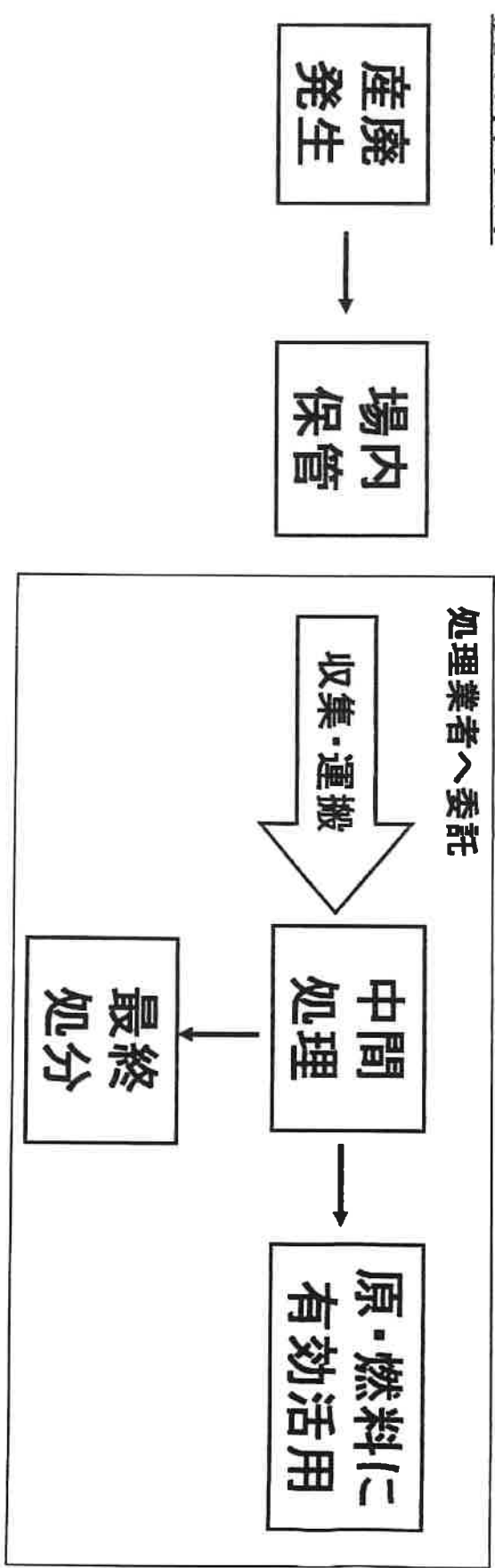
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】別紙3の通り。	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
(これまでに実施した取組)		

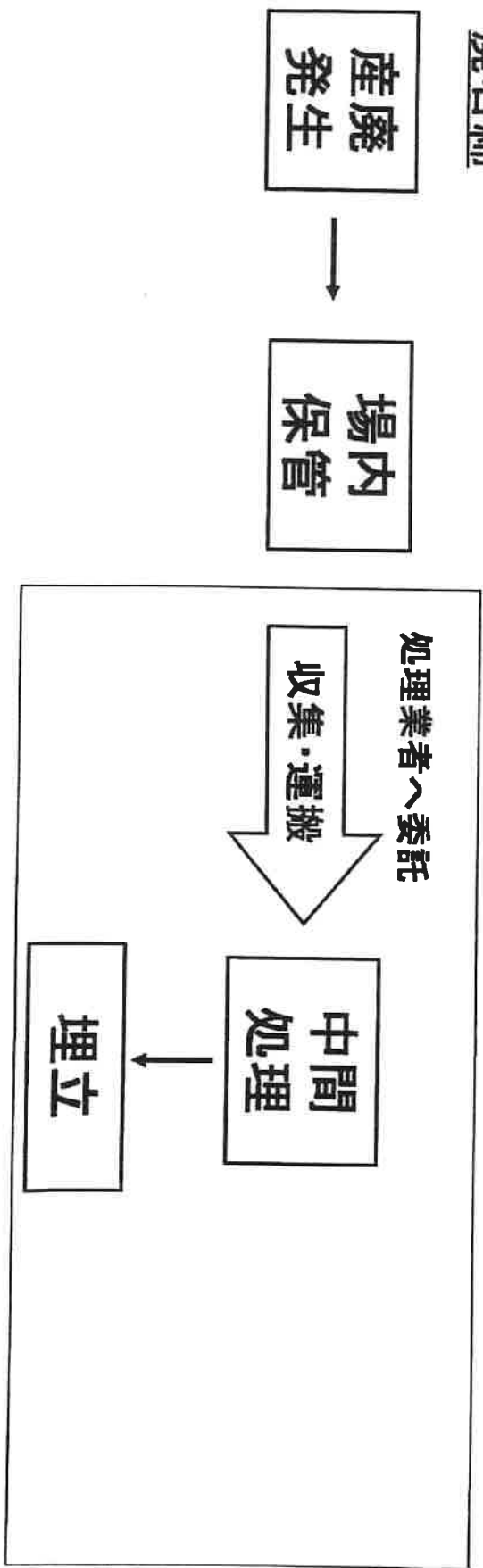
② 計画	【目標】別紙3の通り。		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		402 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

別紙 1 特別産業廃棄物の一連の処理の工程

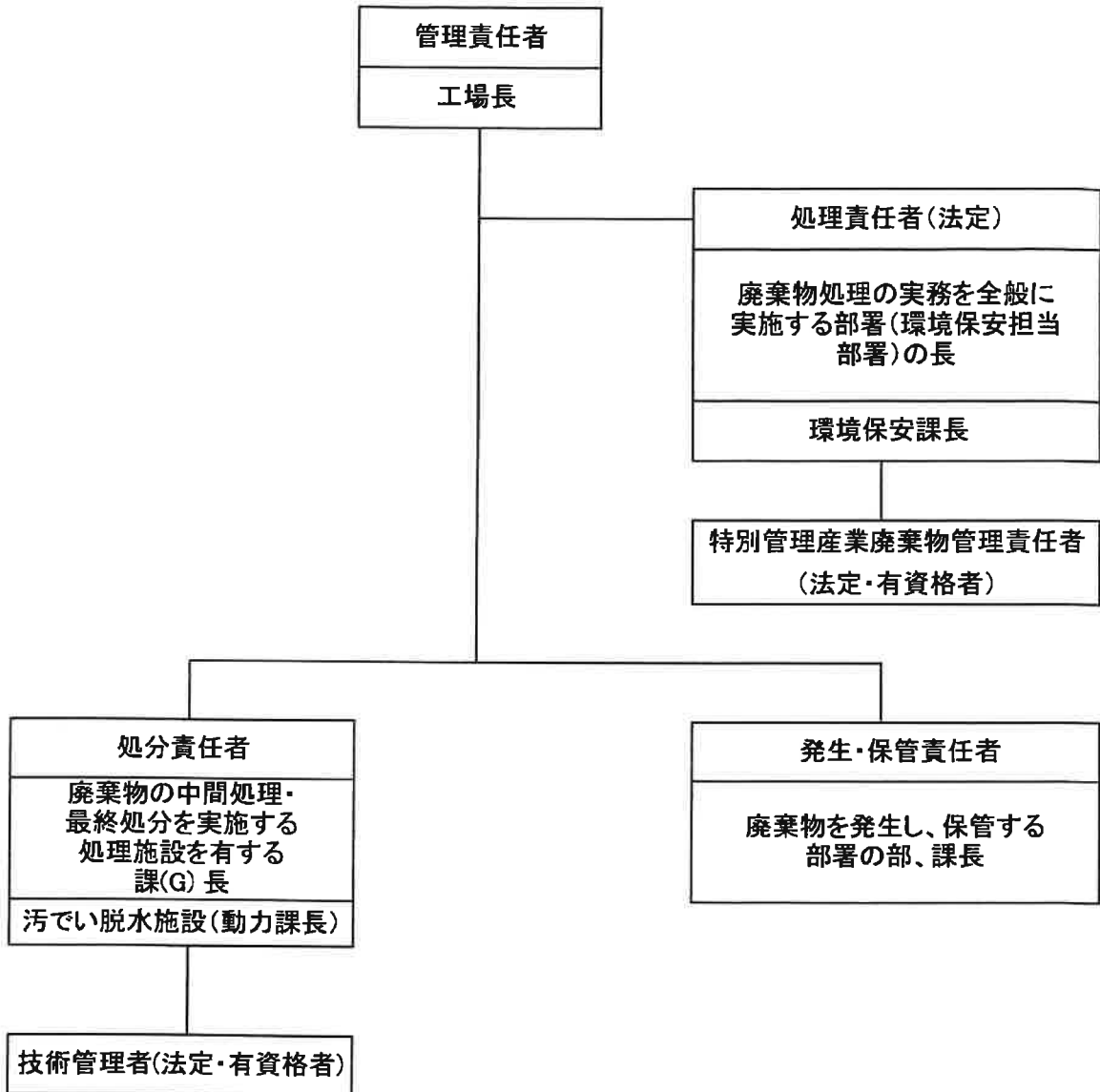
廃石綿以外



廃石綿



岡崎工場廃棄物管理組織



別紙3

2021年度(令和3年度) 特別管理産業廃棄物処理計画書

特別管理産業廃棄物の種類	引火性 廃油	腐食性廃 アルカリ	腐食性 廃酸	感染性 廃棄物	廃水銀	廃PCB 廃棄物	計
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
現状【前年度(2020年度(令和2年度))排出量実績】	288	2	70	16	1	25	402
これまでに実施した取組	平成21年度:高濃度PCB含有機器(高圧トランス、コンデンサー)の処理を全て完了した。 平成25年度:微量PCB絶縁油(高圧トランスから抜き取り)の処理を一部実施した。 平成27年度:高圧トランス1台から微量PCB絶縁油を抜き取り、無害化処理を実施した。 平成29年度:工程安定化により、腐食性廃酸を減量した。 令和2年:引火性廃油の有償化検討を行った。						
計画【2021年度(令和3年度)排出量目標】	280	2	70	16	1	20	389
今後実施する予定の取組	工程安定化・見直し等により発生量を抑制する。 廃石綿は既設設備の撤去工事等で発生したものを適正に処理する。 (発生量は撤去工事規模により増減する) 微量PCB無害化および微量PCB廃棄物の処理を計画的に実施する。						
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
現状【前年度(2020年度(令和2年度))実績】							
全処理委託量	288	2	70	16	1	25	402
優良認定事業者への処理委託量	288	2	70	0	1	25	386
再生利用業者への処理委託量	288	0	0	0	0	0	288
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
これまでに実施した取組	平成22年:電子マニフェストを導入した。 平成22年:産業廃棄物処理委託先を、できる限り県内(もしくは近接する県)とすることで、産業廃棄物(特別管理産業廃棄物も含む)の輸送距離を短縮し、輸送にともない排出する温室効果ガスの排出量を2009年度比約12%削減した。 平成25年:引火性廃油および腐食性廃酸は、優良認定処理業者および認定熱回収業者(三和油化、豊田ケミカル)に処理を委託した。						
計画【2021年度(令和3年度)目標】							
全処理委託量	280	2	70	16	10	20	398
優良認定事業者への処理委託量	280	2	70	0	10	20	382
再生利用業者への処理委託量	280	0	0	0	0	0	280
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
今後実施する予定の取組	廃棄物処理業者への現地点検(1回/年)により特別管理産業廃棄物の適正処理を確認する。 優良認定処理業者および認定熱回収業者に優先的に処理を委託する。						